

令和7年度秋期 情報処理技術者試験

データベーススペシャリスト 講評

【総評】

今回のデータベーススペシャリスト試験では、例年通りオーソドックスな技術をベースとし、業務内容から実世界の情報を概念データモデルに反映する能力が問われる内容となっていました。午前Ⅱ試験では基礎理論、午後Ⅰ試験では基本実務、午後Ⅱ試験では応用実務に対する能力が問われるという、午前・午後の試験それぞれの位置づけに変わりはありません。難易度は、午前Ⅱ試験と午後Ⅰ試験は標準レベル、午後Ⅱ試験はやや難化したという印象です。

【午前Ⅱ】

データベース分野の出題が約7割、後半にはセキュリティなどのシステムに関する一般知識を問う問題が出題されるという構成は、今回も変わりませんでした。データベース分野の出題は、概念データモデル、UMLのクラス図、関数従属性、正規化、関係演算、SQL、制約、トランザクションの実行制御、デッドロックなど、データベース技術における幅広い知識を問う問題で構成されていました。

【午後Ⅰ】

3問とも実務能力を問う問題で、データベースの設計が2問、データベースの実装が1問でした。問1は、大学の学習管理システムの概念データモデリングを問う問題でした。問2は、化学メーカーの営業販売管理システムの概念データモデリングを問う問題でした。問3は、オフィスじゅう器メーカーの在庫管理システムのデータベースの実装を問う問題で、WINDOW句を用いた複雑なSQLが出題されていました。

<午後Ⅰ問題テーマ>

- 問1 大学の学習管理システムの概念データモデリング
- 問2 化学メーカーの営業販売管理システムの概念データモデリング
- 問3 オフィスじゅう器メーカーの在庫管理システムのデータベース実装

【午後Ⅱ】

2問とも実務能力を問う問題でした。問1は、コード決済業者の決済業務及びポイント管理業務におけるデータベースの実装・運用を問う問題で、MERGE文やNoSQLデータベースが出題されました。問2は、宅配ピザチェーンにおける店舗への資材配送業務の概念データモデリングを問う問題でした。

<午後Ⅱ問題テーマ>

- 問1 コード決済業者の決済業務及びポイント管理業務におけるデータベースの実装・運用
- 問2 宅配ピザチェーンにおける店舗への資材配送業務の概念データモデリング

以上